



スター・ランナー(少年阿虎)

2005(平成17)年10月10日鑑賞(パラダイスクエア)

監督=李仁港ディニエリ・リー / 出演=吳建豪ヴァネス・ウー / 金賢珠キム・ヒョジュ / 安志杰アンディ・オン / 錢嘉樂チン・チーロウ (ツイン、東京テアトル配給 / 2003年香港、韓国映画 / 99分)

……台湾の人気ユニットF 4のメンバーのうちの3人がそれぞれ主演した映画が一挙上映されたため、一気に1日で3本を鑑賞。その第1がヴァネス・ウー(吳建豪)主演の『スター・ランナー』。これはK-1のようなアルティメットという格闘技の大会「スター・ランナー」への出場を夢みて練習に励む主人公の男の闘いと、夏季講習でやってきた美しい臨時講師との淡い恋の2つのテーマを描いたもの。オスカー候補の呼び声が高い『シンデレラマン』ほどではないが、そのリング上での闘いと恋模様は予想以上に本格的で感動モノ……。

アルティメット格闘技大会とは？

この映画の第1のテーマは、男同士のリング上での闘い。そしてその舞台は、アジアの若手格闘家たちが集うアルティメットという格闘技大会の「スター・ランナー」。私は最初、これは普通のボクシングの試合だと思っていたら実はそうではなく、蹴り技があるうえ、先代チャンピオンの坦克タンク(アンディ・オン)が今回、新たに見せる技は何と、投げ技。手につけるグローブもボクシング用のものではなく、K-1風のもので、絞め技以外、すべてOKというまさに綜合格闘技がこのアルティメット格闘技……。

教師と教え子との恋愛はどこでも御法度！

この映画のもう1つのテーマは、大学生の鄭建邦ボンド・チェン(ヴァネス・ウー)と年上の女

性金美嬌（キム・ヒョンジュ）との恋。このキムは夏季講習の期間だけ韓国語を教えるために派遣されてきた女性教師だが、生徒たちは某先生の彼女とうわさされているこの新任教師に興味シンシン……。最初、教室をまちがえて入ってきた女性教師はひどいブスだったが、その後に登場したホンモノは、髪の長いスレンダーな美女。しかし、なぜかボンドだけは、1番後ろの席でいびきをかいて居眠りを。その理由は後でわかるが、何でも目立つことはいいことで、これが契機となって2人は意識し合うことに……。

3本ぶっ続けで台湾のSMAPと呼ばれている「F4」の映画を観た私は、その日の晩もフィットネスクラブで15kmを走ったが、走りながらテレビのBS1放送で観たのが山口百恵主演の『エデンの海』（76年）。これは私の中学・高校時代に日活の和泉雅子が演じた学園モノだが、『スター・ランナー』とは逆の、新任男性教師と早熟でエキセントリックな女子高生との禁断の恋がテーマ。昔から学校の教師と教え子との恋愛は厳禁で御法度とされているが、それは当然のこと。さて、ではこの映画での禁断の恋はどのように展開するのだろうか……？

キムには本命と穴が……？

ボンドが教室で居眠りばかりしているのは所属ジムでの毎日のアルティメットの練習で疲れ果てているせい。電車の中に忘れていったボンドの真っ赤なグローブをジムに届けたことによってそのことがわかったキムはなぜかこの男の世界に興味を……。この貧乏ジムが女性会員を増やすべくボクササイズを取り入れようとしたが、その宣伝用写真のためにちゃっかりとキムを活用したのがボンド。こんな公然の仲になっていいのかナとこちらが心配するくらい親密になっていく2人だったが……。そこでビックリしたのが、実はキムには本命の彼氏がいたこと！ それは韓国内でキムがかつて不倫関係にあったサイモン。サイモンは、「妻と離婚しキムを迎えに来る。僕を信じていてくれ」と言っていたが……。実はもう1人の穴というべき存在がなんとキムが今勤務している学校のおじさん教師。しかしその真相のほどはどうも怪しそう……？

一度は挫折したボンドだが……？

ボンドは練習に通うジムの期待の星だが、タンクに挑戦できる出場枠は1つだけ。

したがってまずはジム内での競争に勝たなければならないが、会長が挑戦者に選ぶのは果たして誰……？ それは、ボンドではなく洪^{ホン・ハイ}海（チン・ガーロウ）だったから、若くて自信家のボンドは不満タラタラ……。会長はジムのためにお金を出した選手を選び、貧乏人の自分を排除したと勘ぐったボンドは、突然リングの上に……。もちろん、ホン・ハイとのこんな半分ケンカのような遺恨試合は御法度で、それ以上やればジムから除名だと宣告されたボンドだったが、ボンドはそれも無視……。そしてその結果は……。実力での敗北を認めざるをえなかったボンドは失意のうちにジムの外へ……。まあ、誰にでも挫折はあるものだよ、ボンド君……。

タンクへのチャレンジは？

ジムから選出されたホン・ハイは順調に勝ち進み、ついにタンクに挑戦。そして前半はほぼ互角の打ち合いを展開していたが、やはり少しずつタンクのほうが優勢に。そのうえ、後半タンクが見せた奥の手が、投げ技。昨年まではそんな技はなかったのに、これは一体……。そう思っても試合中にその対策を考えることなどできないまま、ホン・ハイは投げ続けられ最後には圧倒的なタンクの勝利……。これを見たボンドは次回の挑戦を誓ったが、その投げ技への対応策を固めなければ敗北することは明らか。そんな中、ジムを除名されたボンドのコーチを引き受け、ともに過酷なトレーニングに臨んだのは……。そしてそんな2人を見てジムの仲間たちも……。

やはりスポーツの世界は単純でこのようにわかりやすいからいいもの。ボンドはどんな対策でタンクとの決勝戦に臨むのだろうか……？

決勝戦の行方は？

タンクのタイ式キックボクシング+投げ技に対して、ボンドは中国式カンフー+マル秘投げ技対策を……。この両者による決勝戦は手に汗握る闘いとなり、一進一退。まあこれは当然どんな映画でも同じようなつくり方だが……。

ここでも後半出てきたのが、タンクの投げ技。ボンドはその対策たる「返し技」を練習していたはずだが、なかなか有効にその手が出せず投げられてばかり……。しかしついに一瞬のスキをついて返し技が出た！ これには今度はタンクとそのコーチ陣がビックリ……。しかして、試合は一進一退を……。その結末は、どうか映画館で……。

キムとの恋の行方は？

本命の恋人サイモンが約束を守ってキムを迎えにきてくれたことを知ったボンドは、潔く（仕方なく？）身をひいたが、タンクとの決勝戦だけは見てもらいたいため、キムのもとにそのチケットを……。サイモンはこの2人の雰囲気を見て、何かを感じたはず……。映画とはよくできたもので、ボンドの決勝戦の日がちょうどサイモンとキムが飛行機に乗って旅立つ日……。飛行機に乗ってしまったらそれでおしまい。キムが後ろ髪ひかれる思いでいることは、サイモンの目にも明らかだが、サイモンはあえて何も言わずキムの決断に委ねている様子。飛行機に乗る直前になってキムはやはりリングに行く決断したが、この時、「必ず帰ってきてくれるね」と質問するサイモンに対して、キムはあなたが私から離れる時に私に言ったのと同じように、「私を信じて」と回答。果たしてその言葉の真実性は……？

そしてキムがリングの側にかけてつけた後、キムとボンドの恋の行方はどうなるのだろうか？ それも映画を観てのお楽しみに……。

『シンデレラマン』と比べると……？

9月17日に日本で公開され、アカデミー賞候補の呼び声が高い映画が、実在のボクサーを主人公とし夫婦愛と家族愛を描いた『シンデレラマン』（05年）。この『スター・ランナー』における2人の恋物語は、『シンデレラマン』における感動的な夫婦愛と家族愛には負けるものの、リング上の闘いの迫力においては、ある意味で『シンデレラマン』の上をいっている感じ。それは何といても中国式カンフースタイルで挑戦するボンドとタイ式キックボクシングで闘う王者タンクとの若さ対決の魅力によるもの。何といても、若さのぶつかり合いは感動を呼ぶということだ。

2005(平成17)年10月12日記